

計画小委員会活動報告

計画小委員会
小委員長 松下 潤

1. 小委員会の目的

戦後の60年、急速な経済成長と人口流入を背景として大きな成長を遂げてきたわが国の地域・都市は、今後、徐々にその変化の振れ幅を狭めつつ、安定し、成熟した地域形成へと向かうものと考えられる。国土交通省の社会資本整備審議会では、コンパクトな都市づくりが提言されている。これからの時代は、環境的、経済的、財政的な制約のもとで、また限られた空間の中で、高密度な社会を営むべきわが国にとって、豊かで活力ある地域・都市空間を形成するために、地下空間の有効かつ計画的な活用はますます重要になる。

計画小委員会は、こうした背景のもとで、都市空間の再編に結びつく地下空間の計画システム、事業システム、評価システム等の確立を目的として研究活動を行っている。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 海外事例にみる地下空間利用の効果・有用性
- (2) 鉄道の地下化事例にみる地下ならびに地上空間利用の必要性・必然性
- (3) 密集市街地等における地下空間利用の展開方向

2.2 基本方針

計画小委員会では、これまで、地下空間利用の有用性評価に関する研究と、あるべき地下空間利用のために必要な仕組み・ルールづくりに関する研究を進めてきた。今期においても、これらのことを両輪として、とくに対外的にも価値のあるデータベースづくりと先見的な計画論を構築する観点から、道路・鉄道の事例による地下空間利用の必要性・必然性に関する研究と、密集市街地における地下空間利用の展開方向について研究を行う。

2.3 研究体制

当面は、全委員による情報・資料の収集を中心とした活動を行い、必要に応じてワーキンググループの編成を検討する。

2.4 スケジュール

活動内容／年度	2005年度	2006年度	2007年度
1)情報・資料の収集整理	←→		
2)事例の調査・研究		←→	
3)課題の抽出, 具体的分析研究		←→	→
4)成果とりまとめ			←→

3. 活動経過

3.1 第三期活動経過

- ◇ 平成 17 年 5 月 10 日 第 15 回小委員会
 - ① 来期の体制と小委員会公募について
 - ② 第 10 回シンポジウム報告
 - ③ 第 11 回シンポジウムへの投稿論文について
 - ④ 平成 17 年度全国大会共通セッションについて
 - ⑤ 小委員会報告書の取りまとめ方について

3.2 第四期活動経過

- ◇ 平成 17 年 9 月 30 日 第 1 回小委員会
 - ① 委員会の進め方
 - ② 第三期研究成果報告
 - ③ 第四期研究計画

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先	役職	氏名	勤務先
委員長	松下 潤	芝浦工業大学	委員	古賀 大陸	日本技術開発(株)
委員	浅野 光行	早稲田大学	委員	清木 隆文	宇都宮大学
委員	市川 公映	東京都	委員	西 淳二	NPジオテクチャー・フォーラム
委員	遠藤 薫	都市再生機構	委員	宮鍋 伸一	(株)近代設計
委員	大熊 久夫	(財)計量計画研究所			
委員	岸井 隆幸	日本大学	幹事	小林 正典	西松建設(株)
委員	工藤 康博	(株)三菱地所設計	幹事	村田 哲哉	(株)ドーコン